

運動会の感想をお寄せいただきました

運動会の感想をお寄せいただきありがとうございます。一部を掲載させていただきます。子どもたちの励み、自信となればと思っています。

運動会、本当に良かったです。娘は、旗は2年連続でしたが、今年は6年生となり、心も身体もぐんと大きくなり、みんなとてもたくましく感じられました。「心を一つに」という言葉が良い意味で鳥肌が立ち、涙が出ました。普段は目立たない子ですが、先生や友だちに支えてもらいながら、6年生としての「役割」を果たす姿にもとても感動しました。息子も、終始楽しそうで、学校も友だちも先生たちのことも本当に好きなんだろうと思いました。二人にとって、運動会という大きな経験が、また一つ自信になり、これからのパワーにつながっていくと思います。素敵な仲間、素敵な先生たちに出会い、子どもたちは本当に幸せだと思います。

本当に楽しい運動会でした。どの学年も一生懸命、競技に取り組んでいて、感動しました。頑張っている姿に元気もらえました。今年は、写真撮影スペースがあり、とてもうれしかったです。開催にあたり、子どもたち、先生方、スタッフとして参加して下さったPTAの方々に感謝します。ありがとうございました。

保育園のときは苦手だったダンスも、頑張っって踊っていて、成長を感じました。事前に乗気でないと思っていた競技も参加していて、頑張っているのだからうれしく思いました。練習の段階で、「練習始まったん？どう？」と聞くと、「こんな踊るねん。見てて。」と家でも見せてくれて、保育園の時には見られなかった姿が見られて、この2か月の間に自信もついてきたことを感じました。新しい環境になっただけの中、練習が始まり、先生方も大変だろうなと思っていました。子どもと先生方のがんばりに感謝します。ありがとうございました。

初めての運動会で、「緊張する。」と言っていましたが、保護者の見ている中、一生懸命走っている姿、2年生と一緒に踊ったり、競技をしたりしている姿、お兄さんやお姉さん、赤組のみんなで応援している姿を見て、たくましくなったなあと成長を感じました。先生方へいつも見守ってくださりありがとうございます。

小学校で初めての運動会。とてもよい思い出になりました。家でも練習の話をよくしていました。本番では一生懸命に走る姿、嬉しそうな笑顔、たくさんの表情を見ることができ、成長したなあと感じました。ありがとうございました。

みえの子どもたちに感動体験を

～三重県生涯学習センター文化体験パートナーシップ活動推進事業～

三重県生涯学習センターでは、県内の様々な文化と知的探究の拠点やアーティストと協働し、未来の文化を担う子どもたちに優れた文化・芸術との「出会い」を提供しています。

今回は、「みえの子どもたちに感動体験を」をキャッチフレーズに行われている「文化体験パートナーシップ活動推進事業」に応募し、実現をしました。

今回は、その中の一つ「日本音楽の楽しさを体験しよう」ということで、5年生と6年生が、箏の演奏を体験しました。

今回は、伊賀市在住の菅生さんと先生に教わっていただける3名の方を講師にお迎えし、教えてもらいました。はじめに一人ひとりが、自分に合う「ツメ」を選んでいただき、その後、二人一組で箏の前に座りました。はじめに、箏の名称や手の置く位置、弾き方などを教えてもらったあと、♪さくら♪の演奏に挑戦しました。はじめは、弦をはじくように弾いてしまうため、なかなか力強い音色が出ませんが、先生から、「次の弦のところまで押し込むように弾くといいよ。」と教えてもらった子どもたちからは、少しずつ力強い音色が聴かれるようになりました。

休憩後は、菅生先生の箏と川下さんの尺八による♪春の海♪の演奏を聴かせてもらいました。子どもたちは、お二人の演奏される優しい音色に聴き入っていました。特に、菅生先生が両手を使って、素早い手の動きで演奏されているのにはとても驚いていました。

1時間ちょっとの体験でしたが、最後には、どちらの学年も、みんなで♪さくら♪が演奏できるまでに上達しました。

これからも、子どもたちには「本物に触れ、心動かされる体験をする」機会をもっていきたいと思っています。

